

令和8年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	60.9%					○
算数	56.4%		○			

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%					○
情報の扱い方に関する事項	52.3%					○
話すこと・聞くこと	65.8%					○
書くこと	45.7%	○				
読むこと	65.9%					○

【考 察】

- 4つの領域で全国平均を上回りました。特に「読むこと」の領域では、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめて書く問題の正答率が高い結果となりました。毎日の授業で行っている音読が、文章を正しく読み取る力につながったと考えられます。
- 「書くこと」の領域では、本文を引用して自分の考えが伝わるように書き方を工夫する問題に課題がありました。引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして書くことを、授業の中で指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%	○				
図 形	55.3%		○			
測 定	78.1%	○				
変化と関係	41.1%	○				
データの活用	48.6%					○

【考 察】

- 「データの活用」の領域では、帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を正しく読み取ることができています。今後も日常の具体的な場面と関連付けて、必要なデータを読み取り、問題を解決できるように指導していきます。
- 「図形」の領域では、立方体や直方体の立体図形について、体積の意味の理解と立体を空間的にイメージすることが不十分でした。ICT機器や具体物を活用し、実際に動かしてみることで、立体図形の空間認知ができるように指導していきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	白四小	40.0	60.0	0	0

(単位 %)

【考 察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」の割合の合計が100%と高い割合でした。普段の授業からタブレット端末や辞書を活用しながら自分に合った学び方を選択し、課題解決に取り組んできた結果の表れです。
- 授業では、分からないことを一度自分で調べて、自分の考えをもって友達と交流することを大切に指導してきました。今後も、自分の考えや分からないところを明らかにした上で、友達との協働的な学習を通して学び方を共有し、学び方の引き出しを増やしていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	白四小	12.0	16.0	36.0	32.0	4.0	0

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、1時間以上の学習時間を目安としており、64%の児童が達成できています。全員が目標を超えられることを目指して、取り組んでいきたいと思いますので、ご協力をお願いします。
- 「家庭学習の手引き」を基に、「ゆっくり丁寧に書く」、「繰り返し取り組む」、「声に出して読む」など、家庭学習のやり方を再確認したり、意欲的に取り組んでいる児童を称賛してノートを紹介したりするなど、学級全体の意欲を高めていけるようにします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	3 1 . 4	4 7 . 0	1 7 . 2	3 . 4
	白四小	6 0 . 0	4 0 . 0	0 . 0	0 . 0

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が、既習した学習を次の学習につなげることができていると感じています。今後も継続して働きかけ、より充実した学習ができるよう努めていきます。
- 学習意欲をさらに高められるように「何が分かって、何が分からないのか」、「分からないことに対してどうするのか」等、授業について、ていねいに振り返られるよう指導をしていきます。

4 学校に行くのは楽しいと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	4 8 . 0	3 7 . 7	9 . 6	4 . 1
	白四小	8 0 . 0	1 6 . 0	4 . 0	0 . 0

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計が、ほぼ100%と高い割合でした。本校で行っている楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-U）の結果と合わせて考察すると、担任や学級の友達との関係が良好であり、きまりが守られ、児童にとって居心地のよい安心して過ごせる学級の中で学習ができていると言えます。
- 毎週水曜日の構成的グループエンカウンター「豆がらっこタイム」で一人一人が互いに認め合う関係づくりを行うとともに、これからも学級力アンケートや教育相談等を通して児童の悩みや困り感に対して早期発見早期対応できるようにしていきます。